

知識ゼロでも大丈夫
はじめてでも、
挫折しません!

仕組みが
わかる

必ず
動作する

応用できる
基礎が身に付く!



有限会社アリウープ
日本PHPユーザ会
発起人の一人
柏岡秀男
Hideo Kashioka

有限会社アリウープ
企業向けセミナー講師経験多数
池田友子
Tomoko Ikeda



いちばんやさしい PHP の教本

人気講師が教える
実践Webプログラミング

データベース
の仕組みまで
よくわかる!

著者プロフィール

柏岡秀男 (かしおかひでお)

有限会社アリウープ 代表取締役であり、開発者。頑固な職人。PHPユーザ会発起人の一人。毎年恒例のPHP初心者向けセミナーを担当している。大規模のインフラ構築や大量データの検索など、Webにまつわるすべてに関わりたがる職人気質なエンジニア。今後も成長し続け、死ぬまでエンジニアでありたい。

**池田友子 (いけだともこ)**

有限会社アリウープ マネージャー。エンジニア向け技術研修のインストラクターを経験し、現在では企業内の初心者向けのシステム研修・パソコン研修を担当している。インフラ周りから、デザインまで社内ではさまざまな業務を押し付けられ悪戦苦闘の日々を送っている。

**有限会社アリウープ**

2003年4月から12年目を迎えるPHP開発の老舗。常にWeb開発の明日を見つめ、新たな技術力を磨き続けるWeb開発会社。企業向けの技術・システム研修も要望に応じて行っている。PHPにまつわる疑問や問い合わせはぜひ弊社まで。

● Webサイト : <http://alleyoop.jp>

● Facebook : <http://www.facebook.com/alleyoop.jp>

本書内の製品名およびサービスは、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の登録商法または商標です。なお、本文中には™および®マークは明記していません。

はじめに

時 のたつのは早いもので、PHPは2015年で20周年を迎えます。今やPHPはメジャーな開発言語の1つとして確固たる地位を確立しています。RubyやPythonといった言語も勢いがありますが、初心者がはじめやすいという点では、今でもPHPが最適ではないでしょうか。

本書では、はじめてプログラミングをする人や、はじめてWebアプリケーションを作成する人でも、最後まで読み進められるようにとの思いで執筆しました。

今時の機能は入っていないし、見栄えも地味なものになっていますが、その分じっくりと基礎が身に付く内容になっています。一歩ずつ読み進めていけば、間違いなくこの先PHPでプログラミングをする基礎力になるので、最後までPCを前に読み進めてください。

この本がきっかけとなって、PHPのプログラミングが楽しいという人が増えればなによりです。

本書の執筆にあたり、執筆を助めていただいた星野邦敏さん、本書を出版する機会を与えてくださった柳沼俊宏さん、牧浦裕介さん、遅くまでチャットで相談に乗っていただいた小山哲志さん、的確なアドバイスを送っていただいた大垣靖男さん、皆さま本当にありがとうございました。最後にレビューに参加いただいた皆さまには、大変貴重なご意見をいただきありがとうございました。皆さまのご意見があったからこそ、良い内容に仕上がったと思っています。

有限会社アリウープ

柏岡秀男

池田友子

「いちばんやさしいPHPの教本」の読み方

「いちばんやさしいPHPの教本」では、講師によるやさしい説明と豊富な図解で、はじめてPHPを学ぶ人でもつまづかないように「実践的なWebプログラミングの方法」を解説しています。

「何のためにやるのか」がわかる！

薄く色の付いた解説パートでは、HTMLやPHPでWebサイトを作る際に必要な考え方や知識を解説しています。重要なポイントは講師が念押ししてくれるので、PHPへの理解を深められます。

タイトル
レッスンの目的をわかりやすくまとめています。

レッスンのポイント
このレッスンを読むとどうなるのか、何に役立つのかを解説しています。

講師によるポイント
特に重要なポイントでは、講師が登場して確認・念押しします。

解説
PHPの大切なポイントや知識を画面や図解をまじえて解説しています。

「どうやってやるのか」がわかる！

プログラミングのパートでは、大きなフォントで1行1行の流れを丁寧に解説しています。行番号も付いているので、自分で入力しているコードと見比べながら進められます。

手順
番号順に入力をしていきます。入力時のポイントは赤い線で示しています。

Point
入力時の注意点や補足の説明をしています。

ワンポイント
レッスンに関連する知識や、知っておくと役立つ知識を解説しています。

※この本ではHTMLの一部を省略している場合があります。
※本書は2015年3月時点での情報を掲載しています。

いちばんやさしい PHPの教本

人気講師が教える実践Webプログラミング

Contents

目次

著者プロフィール.....	002	索引.....	236
はじめに.....	003	本書サンプルコードの ダウンロードについて.....	239
本書の読み方.....	004		

Chapter

1

PHPを学ぶ 準備をしよう

page
9

Lesson		page
01	[PHPの役割] PHPで何ができるのかを知りましょう.....	10
02	[プログラミングとは] プログラミングの基本的な考え方を知りましょう.....	14
03	[PHPとは] PHPとHTMLの違いを知りましょう.....	16
04	[HTMLとPHP] HTMLとPHPの関係性を知りましょう.....	18
05	[エディタの準備] PHPを記述するためのエディタを用意しましょう.....	20
06	[文字化け対策] 文字コードを設定して文字化けを防ぎましょう.....	34
07	[HTMLとは] HTMLに関して必要な知識を身に付けましょう.....	38
08	[HTMLの基本] HTMLの基本的なルールを身に付けましょう.....	42
09	[HTMLタグの活用] ページ内の表現に必要なHTMLのタグを覚えましょう.....	46

Lesson

- | | | |
|-----------|---|----|
| 10 | [サーバのインストール]
パソコン上に設置できるサーバを準備しましょう..... | 52 |
| 11 | [PHPの文字化け対策]
サーバでも文字化け対策をしましょう..... | 66 |
| 12 | [ファイルの配置]
サーバにファイルを配置してブラウザで表示しましょう..... | 70 |

Chapter

2**プログラムを作りながら
PHPの基本を学ぼう**page
75

Lesson

- | | page | |
|-----------|---|-----|
| 13 | [作成するプログラムの内容]
プログラムの大きな構造を考えてみましょう..... | 76 |
| 14 | [入力フォームに必要なファイル]
入力フォームの作成に必要な2つのファイルを確認しましょう..... | 78 |
| 15 | [テキストの入力フォーム]
テキストの入力フォームを作成しましょう..... | 80 |
| 16 | [テキストデータの受け取りと出力]
フォームの入力内容を受け取るプログラムを作りましょう..... | 86 |
| 17 | [さまざまな入力項目]
入力フォームの項目を拡張しましょう..... | 90 |
| 18 | [変数の理解]
変数を理解して値の扱い方を覚えましょう..... | 98 |
| 19 | [セキュリティ対策]
プログラムの公開に伴うリスクを理解しておきましょう..... | 104 |
| 20 | [条件判定]
入力値を判定してわかりやすく表示しましょう..... | 106 |
| 21 | [if~elseの書式]
条件に当てはまらない場合の動作を設定しましょう..... | 112 |
| 22 | [数字の出力]
数字の入力結果を出力できるようにしましょう..... | 116 |
| 23 | [改行の反映]
改行を正しく処理してテキストエリアの内容を表示しましょう..... | 120 |

3 データベースを 作成しよう

page
125

Lesson		page
24	[データベースとは] データベースを使ってプログラムの幅を広げましょう	126
25	[データベースの準備] データベースを使う準備をしましょう	128
26	[データベースの作成] すべての入れ物であるデータベースを作成しましょう	134
27	[データベースの設計] 保存する内容をもとにデータベースを設計しましょう	136
28	[ユーザーとテーブルの作成] ユーザーを作成してからテーブルを作成しましょう	140
29	[データの入力] 作成したテーブルにデータを入力してみましょう	147
30	[SQL文] SQL文を使ってデータベースを操作しましょう	150

4 データベースと組み合わせた プログラムを作ろう

page
157

Lesson		page
31	[データベースへの接続] PHPからデータベースに接続できるようにしましょう	158
32	[データベースのエラーを確認] データベースのエラーをチェックできるようにしましょう	162
33	[SQL文の実行] データベースの操作の基本を理解しておきましょう	166
34	[表の作成] 登録したレシピを一覧で表示できるようにしましょう	168
35	[繰り返し処理] 繰り返し処理を駆使してレシピを一覧表示しましょう	172

Lesson		page
36	[詳細ページのURL] 詳細ページを作成する準備をしましょう	178
37	[型の変換] データベースとの接続用に値の型を変換しましょう	180
38	[idの取得] URLから受け取ったidをプログラムでチェックしましょう	182
39	[ブレースホルダ] ブレースホルダを設定して変化する数字を受け取りましょう	186
40	[詳細ページの表示] 受け取ったデータを利用して詳細ページを表示しましょう	191
41	[型の変換の準備] 入力内容を保存するために型を変換しましょう	194
42	[データベースへの値の挿入] 変換した値を安全にデータベースに挿入しましょう	198
43	[データベースからの削除] データベースから特定のレシピを削除しましょう	204
44	[データベースの編集] データベースの内容を編集できるようにしましょう	210
45	[編集内容のUPDATE] 編集した内容をデータベースに反映しましょう	220
46	[各機能とのリンク] トップページから各機能にリンクしましょう	226
47	[設定の共通化] ユーザー名とパスワードを共通化しましょう	232

Chapter

1

PHPを 学ぶ 準備をしよう

PHPを使ったプログラミングをはじめる前に、PHPを入力するためのエディタを用意したり、PHPと密接な関係にあるHTMLに関して、必要な知識を身に付けたりしましょう。



Lesson [PHPの役割]

01 PHPで何ができるのかを
知りましょう

このレッスンの
ポイント

では、さっそくPHPについて学んでいきましょう。とはいえ、いきなり覚えることばかりではつらいですね。まずはPHPを利用する目的からイメージしてもらいましょう。皆さんが普段利用しているWebサイトを思い出してください。実はいろいろなWebサイトで、PHPによるプログラムが活用されていますよ。

➔ WebサイトはHTMLできている

PHP (PHP:Hypertext Preprocessor) は、より高性能なWebサイトを作るために活用します。そもそもWebサイトは何できているのかは皆さんご存じですか？ **基本的にはHTMLという言語で書か**

れています。すでに知っている人は多いかもしれませんが。HTMLを知らないという人、後で解説するので不安になる必要はありませんよ。

▶ Webサイトを表示するためのHTML

HTML

```

1 <!DOCTYPE html>
2 <html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" lang="en">
3 <head>
4
5 <meta charset="utf-8">
6 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
7
8 <title>PHP: Hypertext Preprocessor</title>
9
10 <link rel="shortcut icon" href="https://php.net/favicon.ico">
11 <link rel="search" type="application/opensearchdescription+xml" href="https://php.net/phenix/improvedsearch.src">
12 <link rel="Add PHP.net search">
13 <link rel="alternate" type="application/atom+xml" href="https://php.net/releases/feed.php" title="PHP Release feed">
14 <link rel="alternate" type="application/atom+xml" href="https://php.net/feed.atom" title="PHP: Hypertext Preprocessor">
15
16 <link rel="canonical" href="https://php.net/index.php">
17 <link rel="shorturl" href="https://php.net/index">
18 <link rel="alternate" href="https://php.net/index" hreflang="x-default">
19
20
21 <link rel="stylesheet" type="text/css" href="https://php.net/compiled.php?1=1421837618&appf=/fonts/Fira/Fira.css" media="screen">
22 <link rel="stylesheet" type="text/css" href="https://php.net/compiled.php?1=1421837618&appf=/fonts/Font-Awesome/css/font-awesome.css" media="screen">
23 <link rel="stylesheet" type="text/css" href="https://php.net/compiled.php?1=1426756202&appf=/styles/theme-base.css" media="screen">
24 <link rel="stylesheet" type="text/css" href="https://php.net/compiled.php?1=1426756202&appf=/styles/theme-medium.css">

```

Webサイト

The screenshot shows the PHP website homepage. At the top, there are navigation links: Downloads, Documentation, Get Involved, Help, and a Search bar. The main content area features a large heading 'PHP 5.6.7 is available' with a date of 20 Mar 2015. Below this, there is a paragraph of text and a link to 'source downloads of PHP 5.6.7'. On the right side, there is a 'Download' section with links for versions 5.6.7, 5.5.23, and 5.4.39, each with a 'Release Notes' link. There is also a section for 'Upcoming conferences' with links to PHP Tour Luxembourg, Italian phpDay 2015, Lone Star PHP 2015, and SOLIDay 2015. At the bottom right, there is a 'User Group Events' link.

HTMLというルール
の言語でWebサイト
は表示されています。

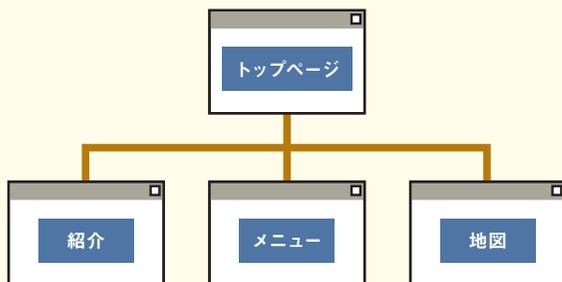


→ Webサイトに必要なページを想像してみる

例えば、小さなレストランのWebサイトを想像してみてください。まずは入り口となるトップページがありますね。どんなレストランなのかの紹介ページ

もほしいところです。メニューも気になりますね。メニューのページも作りましょう。地図を掲載したページも必須ですね。

▶ 小さなWebサイトの構造



なんとなく「こんなページが必要だな」というイメージはわかりますよね。

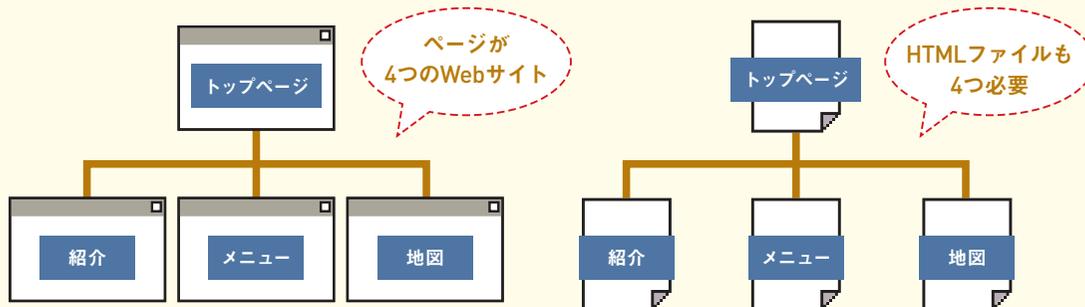


→ 小さなWebサイトならPHPは必要ない

では、「このWebサイトを実際を作るぞ」となると、**4つのHTMLファイル**を準備したらいいでしょうか？

HTMLを作れば完成ですね。こうした小さなWebサイトなら、PHPは必要ありません。では、もっと規模の大きなWebサイトではどうなるのでしょうか？ 次のページで見てください。

▶ Webサイトに必要なファイルの数

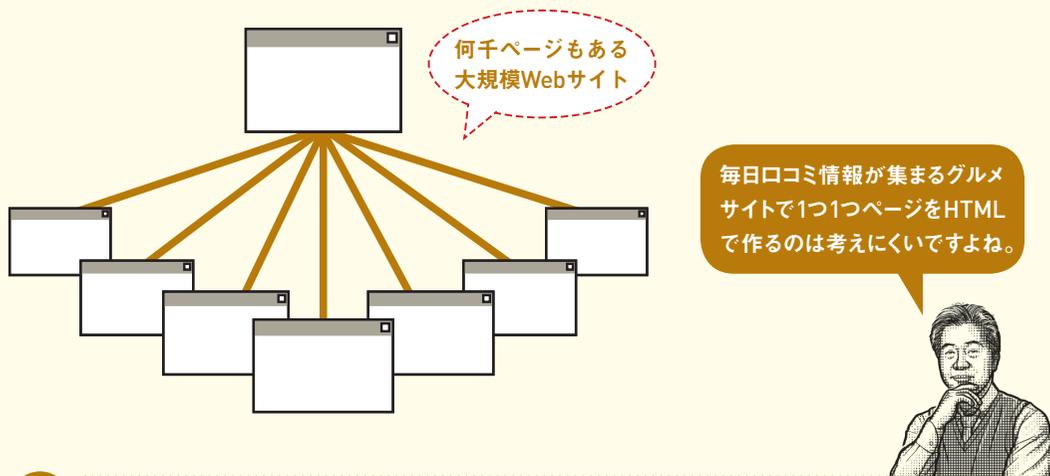


➔ 大規模Webサイトは同じ方法では作れない

さて、今度はもっと規模の大きなWebサイトをイメージしてみましょう。いろいろなレストランのレビューがたくさん掲載されたグルメ情報サイトです。何千店ものレストランの口コミ情報が掲載されて

います。このWebサイトは、どう作ればいいのでしょうか。何千個ものHTMLファイルを作りますか？ **ちょっと現実的ではありません**よね。

▶ 大規模Webサイトの場合

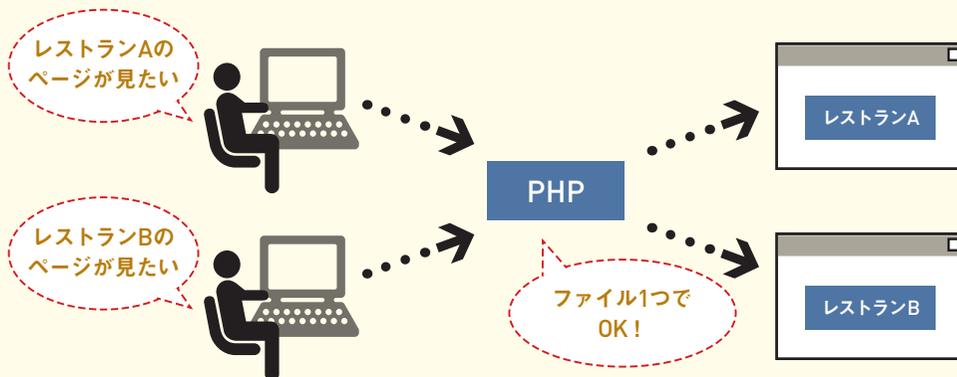


➔ 自動でHTMLを書きしてくれるPHP

ここで登場するのが「PHP」です。PHPとは、ざっくりいってしまうと、命令に応じてさまざまな動作をしてくれるプログラミング言語です。PHPを使えば、レビュー掲載ページ用の**PHPファイルを1つ**

作っておけば、後は命令にしたがって、**それぞれのレストランのレビュー掲載ページを自動で作ってくれます**。これなら、何千個ものHTMLファイルを作る必要はありませんね。

▶ PHPによるプログラム



➡ いろんなWebサイトでPHPが使われている

PHPを使えばどんなことができるか、イメージできましたか？ 皆さんがよく利用するようなあんなWebサイトやこんなWebサイトもPHPの技術で実現しているんですよ。例えば、Yahoo! JAPANなどは、

PHPの開発そのものにも貢献しているんです。
PHPを利用しているWebサイトは全世界で1億以上あるといわれています。ワクワクしてきませんか？

▶ PHPを利用している主なサイト

食べログ



Yahoo! JAPAN



価格.com



➡ さまざまな機能に応用できる

「そんな大規模なサイトを作る予定はない」と思う方もいるかもしれませんが、PHPは大規模なサイトを作るためのものではありません。例えば、問い合わせフォームやアンケートシステム、会社が

持っているデータを検索する仕組みなど、**さまざまな機能に応用できる**のです。1つ1つかみ砕きながら解説していきますね。次のレッスンでは「プログラム」について、もう少し詳しく説明します。

▶ PHPで作成できる主なプログラム

検索システム

アンケート

問い合わせフォーム

ルールさえ覚えれば、
 さまざまなプログラムを
 作成できますよ。



Lesson

[プログラミングとは]

02

プログラミングの
基本的な考え方を知りましょうこのレッスンの
ポイント

前のレッスンでPHPはプログラミング言語だという話をしましたが、プログラムと聞くと、えたいのしれない難しいものだと感じてしまう人もいるでしょう。プログラムとは、簡単にいうと「考え方をコンピュータに伝えること」です。簡単な例を見ながら、まずは基本的な考え方を知りましょう。

➔ プログラムは実はとっても身近

テレビの録画機能を思い浮かべてください。毎日指定した番組を録画する機能がありますね。この録画機能ではさらに以下の図のような3つのメニューを選択できます。例えば、朝の連続ドラマを録画するときは、毎日録画にしようとするので、

毎日録画にしようとするので、月曜日から土曜日を選択します。これは、**録画機能用のコンピュータに、条件を指定して考え方を伝えている**ことになります。これも1つのプログラミングです。

▶ 録画機能のプログラム

録画機能のメニュー

- ・毎日録画する
- ・月曜から金曜に録画する
- ・月曜から土曜に録画する



録画用コンピュータ



決められた条件に応じて録画を行う

「どんな条件でどんな行動をする」ということを決めるのがプログラムなのです。このプログラムを書くことを「プログラミング」といいます。



→ プログラミングは怖くない

「ある条件だったら何々をする」といった設定の積み重ねでプログラムは動いています。高度なプログラムでも簡単なものでも、そこは変わりません。先ほどのテレビ録画の例では日本語のメニューで条件と行動を指定していましたが、PHPの場合は

主に英単語を用いた独自のルールで、プログラムを書いていくことになります。書き方の文法さえわかっただけじゃ、録画予約のように自由に扱えるようになるので、安心して読み進めてください。

▶ PHPによるプログラムの一例

どんな条件のとき

```
if($_POST['category'] == "1") echo "和食";
```

どんな行動をする

左図のPHPは「1を取得したら、和食を出力する」という命令になります。

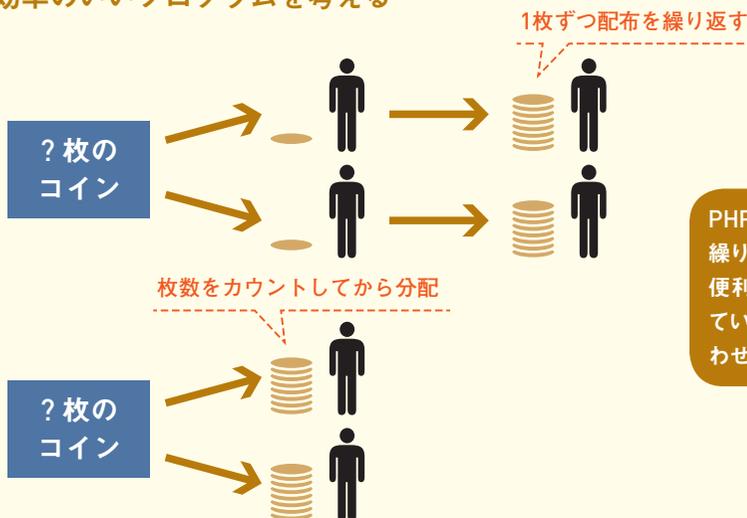


→ アルゴリズムって何？

プログラムの考え方として知っておきたいのが「アルゴリズム」です。アルゴリズムとは効率のいい考え方をプログラムに伝えることです。例えばコインが何枚入っているかわからない袋を持っていてそれを5人に分けろといわれたらどうしますか？

「袋の中身をまず数えてから分け方を考える」「1人に1枚ずつ順番に配っていく」などさまざまな方法がありますね。プログラムを書くにはこの方法を考えなければいけません。

▶ 効率のいいプログラムを考える



PHPには順番を入れ替える、繰り返し同じ動作をするなど便利な命令がたくさんそろっているので、これらを組み合わせてプログラムを考えます。



Lesson

[PHPとは]

03

PHPとHTMLの違いを
知りましょう

このレッスンの
ポイント

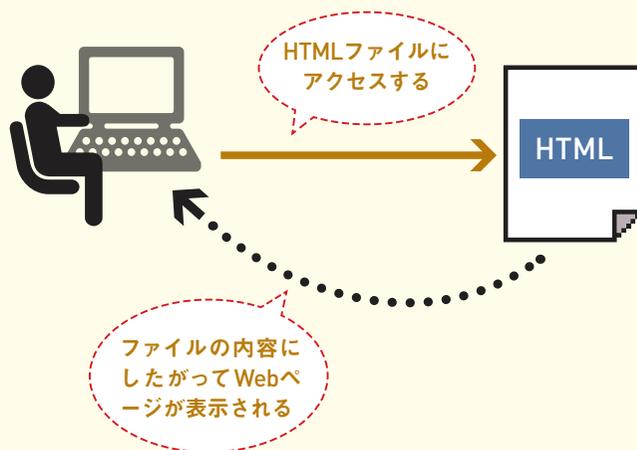
プログラミングの面白さは感じていただけましたか？ では、PHPでプログラミングをするというのはどういうことなのか、レッスン1で話に出てきたHTMLとの関係性を確認しながら解説していきましょう。

➔ HTMLは常に同じ内容を表示する

そもそもHTMLとはどういうものかを確認しておきましょう。HTMLとは、Webサイトを表示するための言語です。書き方はレッスン7で解説しますが、

ここで覚えておきたいのは、**HTMLファイルをブラウザで表示すると、誰がどうアクセスしても同じWebページの内容が表示される**ということです。

▶ HTMLファイルの表示の仕組み



HTMLで作られたWebサイトは、誰がどう表示しても、同じようにページが表示されます。

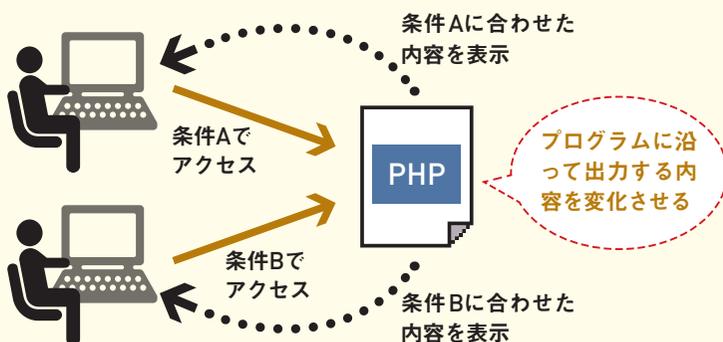


➔ PHPは状況に応じて内容が変化する

PHPファイルにブラウザでアクセスしてもHTMLファイルと同じく、対応した内容が表示されます。ただし、大きな違いが1つあります。**PHPは設定したプログラムによって、表示させる内容を変更で**

きるのです。条件AでアクセスしたユーザーにはAの内容を、条件BでアクセスしたユーザーにはBの内容をといったように、プログラムに沿って表示する内容を変更できるのです。

▶ ユーザーの選択による内容の変化



➔ PHPがWebサイトの機能を大きく広げる

HTMLとPHPの違いはわかりましたか？例えば、ログインする人によって違うマイページを表示したり、トップページの最新情報を自動的に変更したり、不動産サイトのように検索する条件によって表示するページを変更したりといったことが、PHP

なら実現できます。逆に、HTMLだけで作成しているページの場合はいつ見ても内容は変化しません。**PHPを組み合わせることで、サイトでできることが大きく拡張される**のです。

アクセスするたびに内容が変更されるようなページを「動的ページ」と呼び、逆に常に固定の内容が表示されるページは「静的ページ」と呼びます。



Lesson [HTMLとPHP]

04 HTMLとPHPの 関係性を知りましょう



このレッスンの
ポイント

前のレッスンではPHPとHTMLの違いについて説明しました。でも、PHPとHTMLはまったく別物ではありません。PHPはHTMLとセットで動作するからです。ここで、切っても切り離せないPHPとHTMLの関係性を理解しておきましょう。

➔ PHPとHTMLはセットで利用される

一般的にPHPはHTMLとの親和性が高いといわれています。下のコードを見てください。パッと見たところHTMLで書かれたファイルのように見えます。後述しますが「<?php~?>」の部分がPHPで書か

れた部分です。それ以外の内容は、通常のHTMLとまったく違いはありません。このように**HTMLと協調しながらPHPは実行されます。**

▶ HTMLの中のPHP

ブラウザで表示すると「こんにちは」と表示されるプログラム

```
01 <!DOCTYPE_html>
02 <html_lang="ja">
03 <body>
04 <?php_echo_"こんにちは";_?>
05 </body>
06 </html>
```

PHPで書かれている部分

※本書では、コード内の半角スペースを_で表しています。

➔ HTMLの中にPHPモードとして書いていく

`<?php~?>`に囲まれた部分をPHPモードと呼びます。HTMLからPHPモードに入ってまた出る（もしくはHTMLに戻る）といったいわれ方もするので覚えておきましょう。ここで覚える必要はありませんが、「echo」というのは「文字列を表示する」という

意味を持っています。後ろの「こんにちは」を表示せよ」と命令しているわけです。今は1行ですが、大きなプログラムを書いていくとPHPの部分は増えていきます。

▶ PHPモード

```
<?php_echo_ "こんにちは";_?>
```

PHPモードの開始
と終了を示すタグ

PHPはHTMLの中にPHPモードとして書く、ということだけ覚えておきましょう。



➔ PHPからHTMLを出力できる

別の例を見てみましょう。この例の出力結果は実は左ページの例と同じなんです。左ページの例ではHTMLの中にPHPを記述していますが、この例ではPHPからHTMLを出力しています。HTMLとPHPが密接な関係を持っていることがわかりま

すか？ はじめはこんがらがってしまうかもしれませんが、今の時点ではわからなくても大丈夫です。本書を読み進めていく中でちゃんと理解できるようになります。

▶ PHPからHTMLを出力

```
01 <?php
02 echo_ "<!DOCTYPE_html>¥n";
03 echo_ "<html_lang=¥"ja¥">¥n";
04 echo_ "<body>¥n";
05 echo_ "こんにちは";
06 echo_ "</body>¥n";
07 echo_ "</html>¥n";
```

Lesson

[エディタの準備]

05

PHPを記述するための
エディタを用意しましょう

これから制作していくPHPプログラムはテキストエディタを使用して編集します。そのために、パソコンにエディタをインストールしましょう。例えば、Windowsであればメモ帳というエディタがあらかじめインストールされていますが、プログラムを書くならもっと高機能なエディタの方が便利です。

➔ 高機能のテキストエディタを手に入れる

機能面で補助してくれるテキストエディタをインストールして利用してみましょう。OSにもともと用意されているエディタを利用してもかまいませんが、プログラミングをするうえでは少し不便に感じると思います。例えば、**高機能なエディタには、プログラミングの利用者向けにプログラムのコードの識別や色の設定、高機能な検索などの機能を持**

っているので、コードや関数が見やすくなり、作業効率が上がったり、入力ミスを防げたりといったメリットがあります。Windowsは次のページから、Macは24ページから、エディタのインストールといくつかの設定を行います。手順どおりに進めれば難しいことはありませんよ。

▶ サクラエディタ (Windows)

<http://sakura-editor.sourceforge.net/download.html>

```

1 <?php
2 <html lang="ja">
3 <head>
4 <meta charset="UTF-8">
5 <title>出力結果</title>
6 </head>
7 <body>
8 <?php
9 //print_r($_POST);
10 echo htmlspecialchars($_POST['recipe_name'], ENT_QUOTES, 'UTF-8');
11 echo <br>;
12 if ($_POST['category'] === '1') echo "和食";
13 if ($_POST['category'] === '2') echo "中華";
14 if ($_POST['category'] === '3') echo "洋食";
15 echo <br>;
16 if ($_POST['difficulty'] === '1') {
17     echo "簡単";
18 } else if ($_POST['difficulty'] === '2') {
19     echo "中級";
20 } else {
21     echo "難しい";
22 }
23 echo <br>;
24 if (!is_numeric($_POST['budget'])) {
25     echo number_format($_POST['budget']);
26 }

```

▶ CotEditor (Mac)

<http://coteditor.com/>

```

1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="ja">
3 <head>
4 <meta charset="UTF-8">
5 <title>出力結果</title>
6 </head>
7 <body>
8 <?php
9 //print_r($_POST);
10 echo htmlspecialchars($_POST['recipe_name'], ENT_QUOTES, 'UTF-8');
11 echo <br>;
12 if ($_POST['category'] === '1') echo "和食";
13 if ($_POST['category'] === '2') echo "中華";
14 if ($_POST['category'] === '3') echo "洋食";

```

コマンドやキーワードの強調表示ができ、行番号が表示されるのであれば、ほかのエディタでもいいですよ。



○ サクラエディタをインストールする (Windows)

[▲HOME] [掲示板] [開発掲示板]

サクラエディタ Download

Package / 拡張ツール / (隠蔽) / アイコン

Binary/Source/Helpは、SourceForgeのリリースシステムを使用しています。sakura.exeなど個別ファイルのダウンロードは [SourceForge Project Page](#) からどうぞ。

サクラエディタはあとで外部ツールを追加して機能拡張することができます。それら関連ファイルを含めた導入方法については [こちら](#) をご覧ください。関連ファイルをまとめてダウンロード&インストールする [Sakura Down](#) もあります。

パッケージダウンロード

本サイトの更新は遅れることがあります。パッケージの更新状況は [SourceForge Project Page](#) でご確認ください。

注意: パッケージが最新版の実行ファイルを含んでいないことがあります。新規にインストールされる場合にはパッケージをインストールした後でsakura.exeのみを最新版EXEと差し替えることをおすすめします。

V2(Unicode版)

サクラエディタの Version 2 です。
内脚データを Unicode で保持し、SJIS で表現できない文字も扱えます。
日本語版 Windows 2000/XP/Vista/7/8 で動作します。

最新版ダウンロード [sakura_install2-1-1-4.exe \(2.1.1.3\)](#)

主な新規機能

1 ファイルをダウンロードする

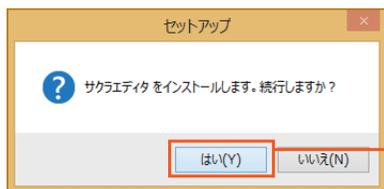
1 サクラエディタのページ (<http://sakura-editor.sourceforge.net/download.html>) を表示

2 [最新版ダウンロード] のファイル名をクリック



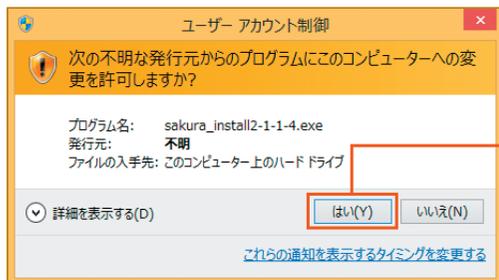
2 ダウンロードしたファイルを実行する

1 [実行] をクリック



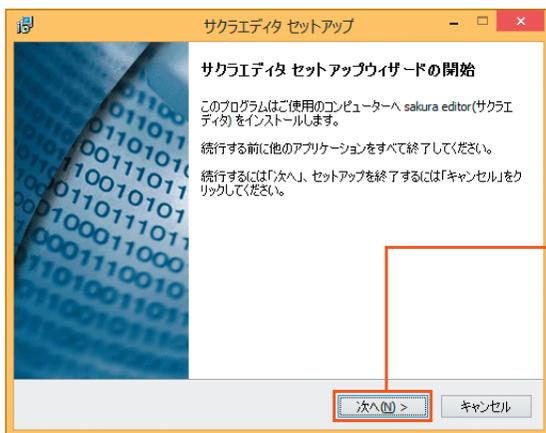
3 インストールを開始する

1 [はい] をクリック



4 コンピュータへの変更を許可する

1 [はい] をクリック



5 セットアップを開始する

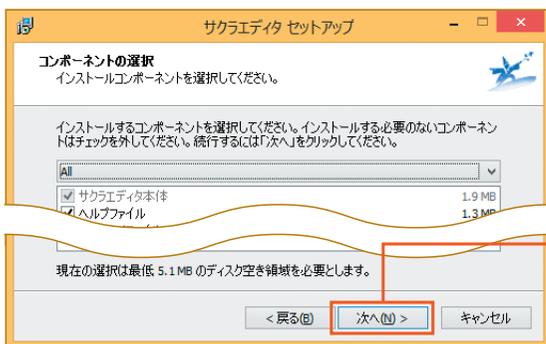
1 [次へ] をクリック



6 インストール先を指定する

1 インストールするフォルダを確認

2 [次へ] をクリック



7 インストールするコンポーネントを確認する

1 [次へ] をクリック



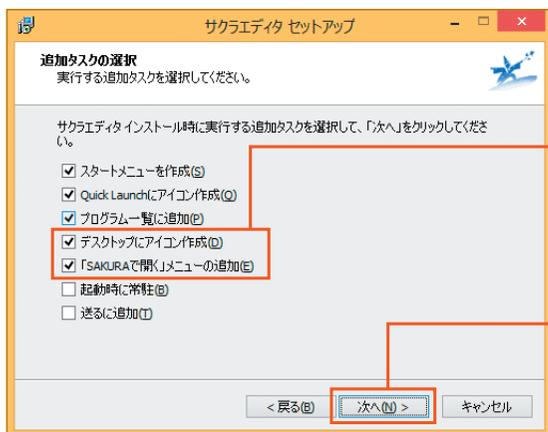
8 設定の保存方法を選択する

1 [次へ] をクリック



9 アイコンを作成する場所を指定する

1 [次へ]をクリック



10 追加タスクを選択する

1 [デスクトップにアイコン作成]と[「SAKURAで開く」メニューの追加]をクリックしてチェックマークを付ける

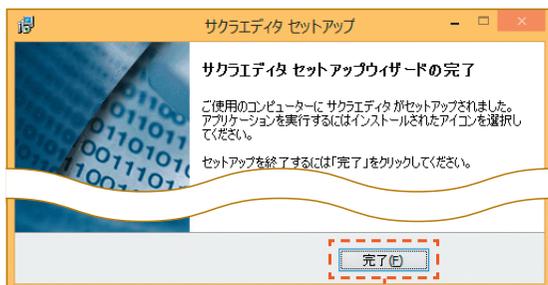
2 [次へ]をクリック



11 インストールを確定する

1 インストールの設定内容を確認

2 [インストール]をクリック



12 サクラエディタがインストールされた

サクラエディタがインストールされました。デスクトップに[サクラエディタ]のショートカットが作成されます。

[完了]をクリックして終了します。

● CotEditorをインストールする (Mac)



1 ファイルをダウンロードする

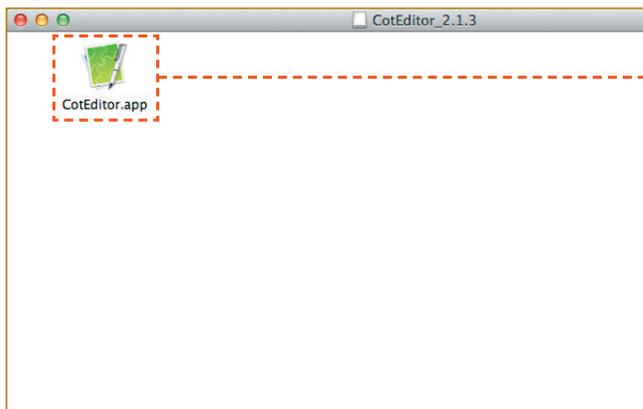
1 CotEditorのページ (<http://coteditor.com/>) を表示

2 [download] をクリック



2 ダウンロードしたファイルを開く

1 Dockの [ダウンロード] をクリックし、前の手順でダウンロードしたファイルをクリック



ウィンドウが開き、CotEditorが表示されます。